

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-4	事務事業名 放置自転車対策事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 公共の場所等における自転車等の放置を防止するとともに、交通の安全及び防災活動の確保ならびに自転車等駐車対策の推進を図り、もって市民の良好な生活環境の保持に資することを目的とする。	総合計画上の位置づけ 放置自転車対策の推進
	実施内容、実施方法 市内5駅周辺の放置自転車等の防止指導、放置されてしまった自転車等を通行が出来る様に整理を行い、更に放置自転車等に警告札の取付、更に放置されたままの自転車等の撤去・移送を実施している。最近では駅周辺以外の所からの放置自転車等撤去要請が多い時は日に4~5件あるが、このことにも対処している。	根拠法令等 西東京市自転車等の放置防止に関する条例
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 撤去台数	活動指標の考え方(定義) 1年間に撤去した台数
	成果指標名 放置台数	成果指標の考え方(定義) 放置自転車調査(調査日10月)における1ヶ月の台数1,200台×12ヶ月

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		100,918	96,670	92,983	95,118
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		100,918	96,670	92,983	95,118
	所要人員(B)	人	5	5	5	5
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	41,230	41,365	41,640	41,640
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	142,148	138,035	134,623	136,758
	単位当たりコスト (E)=(D)/(撤去台数)	千円	12.80	11.98	12.43	
歳入	千円					
活動指標	目標値	台			12,000	10,000
	実績値	台	11,107	11,522	10,830	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	台			14,400	14,400
	実績値	台	14,400	14,400	14,400	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	人が歩けないような止め方をしている自転車を撤去してほしいとの意見がある。
	国・都・他市・民間等における類似事業	
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 8-5-4	事務事業名 放置自転車対策事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	放置自転車等の指導・整理等については、社団法人 西東京市シルバー人材センターに委託を行っている。撤去・移送については、民間の廃棄物処理会社に委託を行っているが、市内5駅の南北口と駅以外から通報があった放置自転車等の撤去を行っている。この会社の係員は業務に精通しており、放置者及び住民とのトラブルも無くフル稼働で業務にあたっている。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	放置自転車等の指導・整理等については、歩行者等の通行の確保に必要である。また、シルバー人材センターの委託についても高齢者の雇用促進になっている。撤去・移送についても指導・整理等を行っても、撤去・移送を必要に応じて行わなければ、放置自転車等が増えてしまうので、これからも、増強を図る必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	放置自転車等の指導・整理等については、現在の指導・整理等の時間の延長が必要である。また、撤去・移送についても、現在1日5駅(南北口)1回の巡回が限界のため、今後、駅エリアを分け1日数回の巡回撤去・移送及び、市内からの撤去要請の通報(1日4～5台)による撤去・移送の車両及び人員の増強を図る必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	放置自転車等の指導・整理等については、公平性については特に問題はない。撤去・移送については、現行の一日1回程度の巡回撤去では、当日の撤去後に放置した自転車等の撤去が実施出来ないの公平性を欠く。この件については、効率性で記載したとおり、撤去・移送の車両及び人員の増強が必要である。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在のところ、指導・整理等の委託先のシルバー人材センター及び撤去等の委託先の会社もフル稼働で実務にあたっている。そのため、目立った放置自転車等もなく良好である。しかしながら、特に撤去については、実務に当たる車両及び人員の増強が、撤去・移送の委託料の増額を予算化した上で、必要である。

17年度における改善点	平成17年度に於いては、平成16年度の継続とした。
-------------	---------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	平成18年度は現在の取組内容を継続して実施する。今後委託単価の見直しを含め、事業の効率化を検討する必要がある。
--------	---	---

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。